

全業種 回答数359社

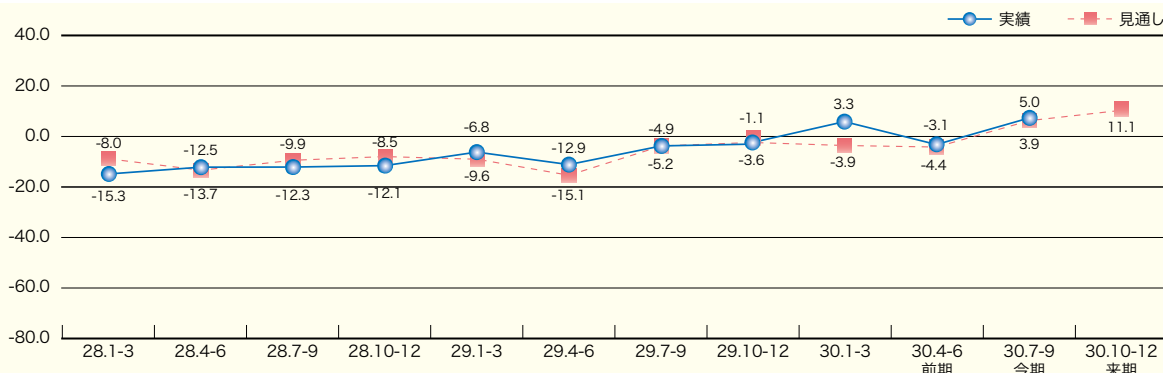
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは5.0。前期より改善。

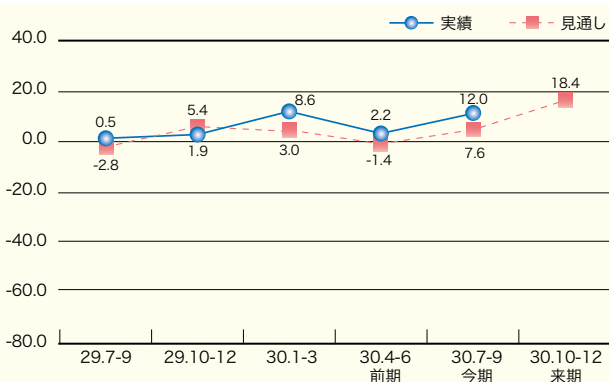
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは11.1。来期も改善の見通し。

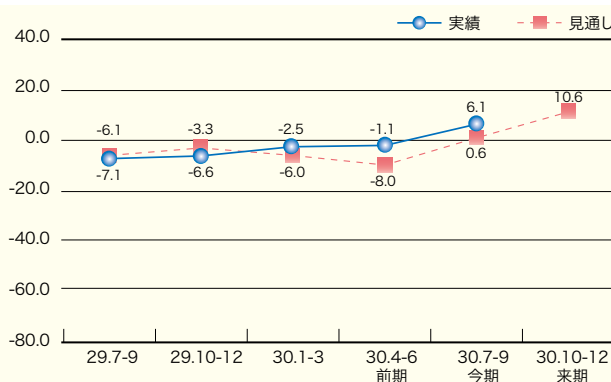
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成29年				平成30年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
業況	▲ 6.8	▲ 12.9	▲ 5.2	▲ 3.6	3.3	▲ 3.1	5.0	11.1
売上	▲ 7.6	▲ 12.6	0.5	1.9	8.6	2.2	12.0	18.4
収益	▲ 9.5	▲ 13.8	▲ 7.1	▲ 6.6	▲ 2.5	▲ 1.1	6.1	10.6
資金繰り	▲ 13.4	▲ 6.4	▲ 4.9	▲ 8.8	▲ 4.4	▲ 3.7	▲ 3.4	▲ 2.8
在庫	4.6	2.3	3.4	3.0	▲ 0.9	1.5	▲ 6.1	▲ 4.3
設備	▲ 3.7	▲ 5.8	▲ 8.9	▲ 9.1	▲ 10.9	▲ 8.1	▲ 13.5	▲ 13.9
人手	▲ 35.0	▲ 28.7	▲ 37.7	▲ 43.3	▲ 41.6	▲ 40.4	▲ 46.8	▲ 47.8

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

へきしん取引先 景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

- 調査実施時期 平成30年9月3日～7日
- 調査対象企業 359社
- 調査対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

業種構成

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設不動産業	その他	合計
企業数(社)	136	34	73	27	87	2	359
構成比(%)	37.9%	9.5%	20.3%	7.5%	24.2%	0.6%	100.0%

製造業

回答数136社

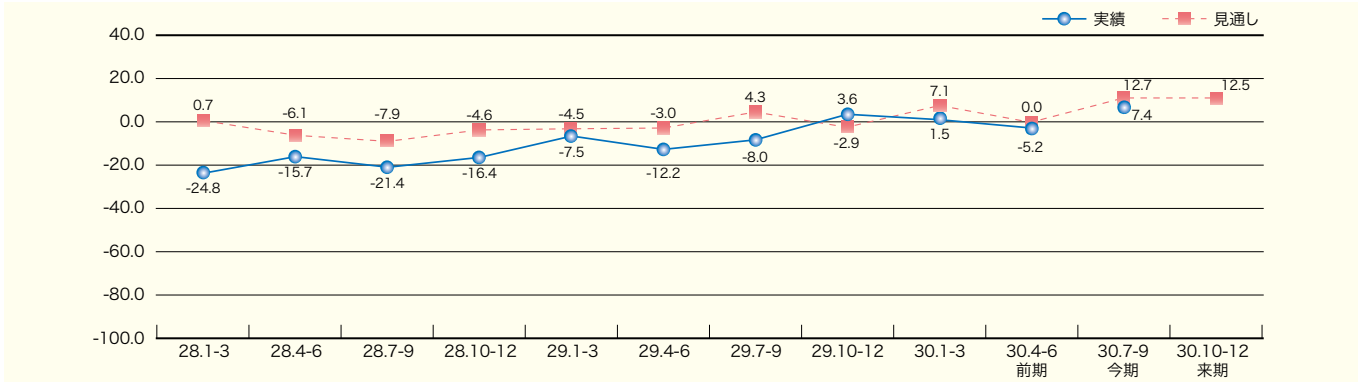
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは7.4。前期より改善。

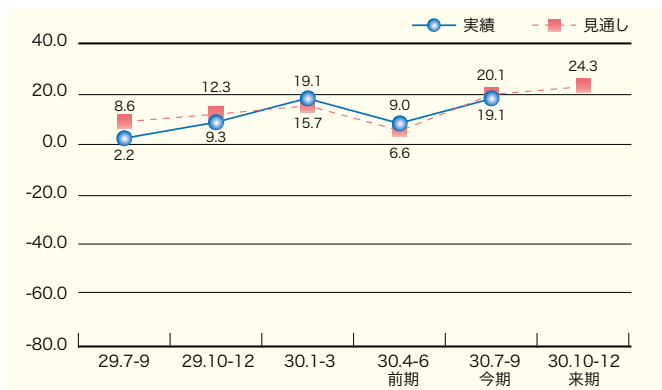
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは12.5。来期も改善の見通し。

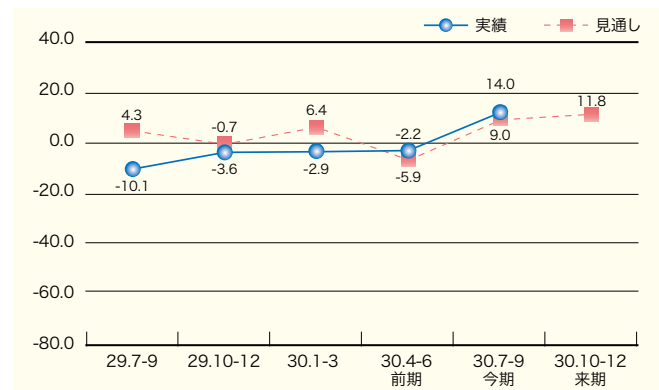
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移

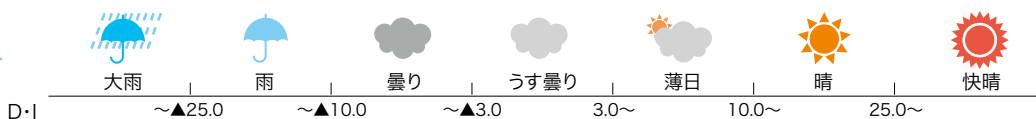


D・I判断指数

	平成29年				平成30年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
業況	▲7.5	▲12.2	▲8.0	3.6	1.5	▲5.2	7.4	12.5
売上	▲7.5	▲10.8	2.2	9.3	19.1	9.0	19.1	24.3
収益	▲5.2	▲11.5	▲10.1	▲3.6	▲2.9	▲2.2	14.0	11.8
資金繰り	▲8.2	▲4.3	▲6.5	▲7.1	▲7.4	▲10.4	▲0.7	▲2.9
在庫	6.7	2.2	4.3	5.8	▲0.7	1.5	▲3.7	▲5.2
設備	3.7	0.0	▲10.9	▲8.6	▲9.6	▲11.2	▲19.1	▲19.1
人手	▲30.6	▲25.9	▲41.3	▲47.1	▲48.5	▲45.5	▲53.7	▲55.6

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

天気図の見方



<D・Iとは> D・Iとは業況(業界の景気)を判断するための指数であり、次の計算式で求められます。
 D・I(ディフュージョン・インデックス) = 業況判断指数 = (良い又はやや良いと答えた割合) - (悪い又はやや悪いと答えた割合)

卸売業
回答数34社

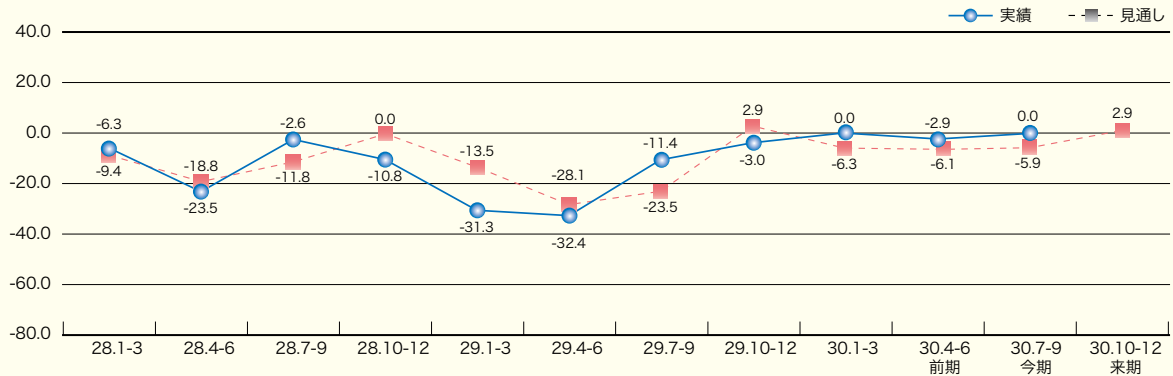
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは0.0。前期より若干改善。

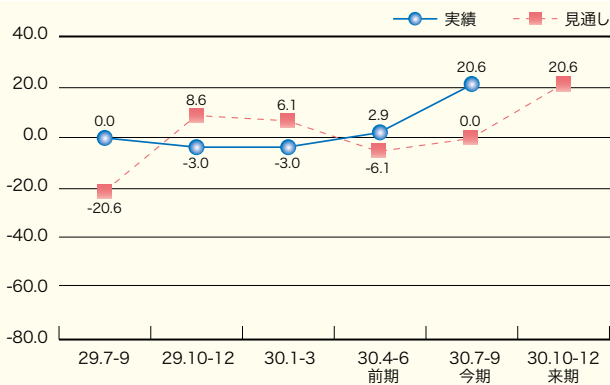
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは2.9。来期は若干改善の見通し。

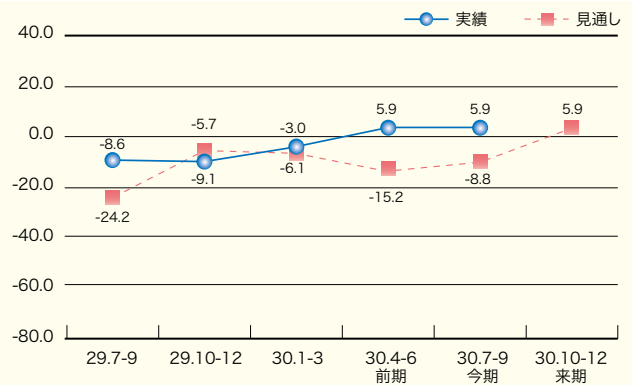
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成29年				平成30年 1-3月	前期実績		今期実績	来期見通し
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月		4-6月	7-9月	10-12月	
業況	▲ 31.3 	▲ 32.4 	▲ 11.4 	▲ 3.0 	0.0 	▲ 2.9 	0.0 	2.9 	
売上	▲ 31.3	▲ 38.2	0.0	▲ 3.0	▲ 3.0	2.9	20.6	20.6	
収益	▲ 25.0	▲ 27.3	▲ 8.6	▲ 9.1	▲ 3.0	5.9	5.9	5.9	
資金繰り	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 8.6	▲ 15.2	0.0	0.0	▲ 11.8	▲ 11.8	
在庫	3.1	3.0	2.9	6.3	▲ 3.1	2.9	0.0	0.0	
設備	▲ 9.7	▲ 14.7	▲ 11.8	▲ 15.6	▲ 21.2	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 6.1	
人手	▲ 18.8	▲ 20.6	▲ 37.1	▲ 36.4	▲ 30.3	▲ 35.3	▲ 32.4	▲ 23.5	

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

小売業
回答数73社

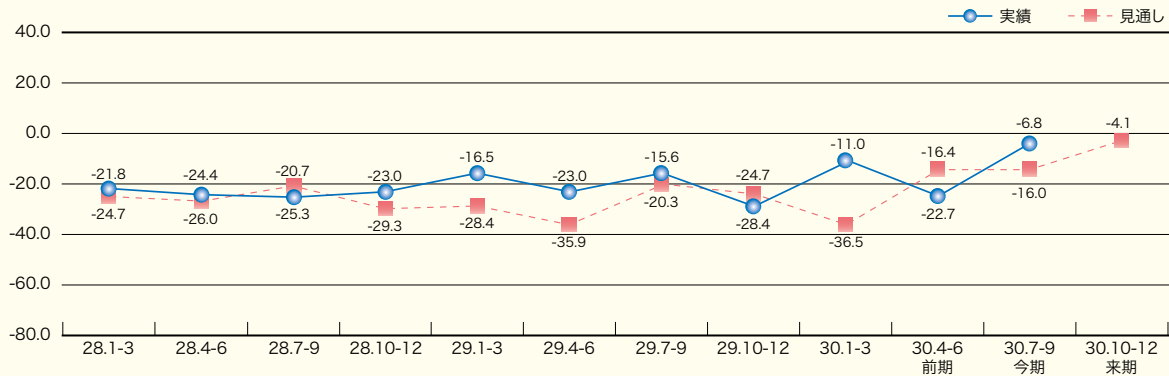
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは▲6.8。前期より大幅に改善。

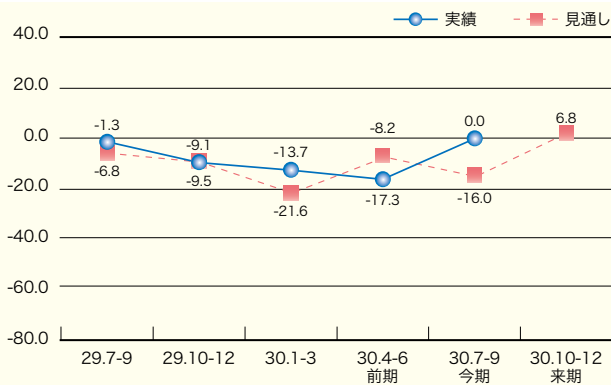
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは▲4.1。来期は若干改善の見通し。

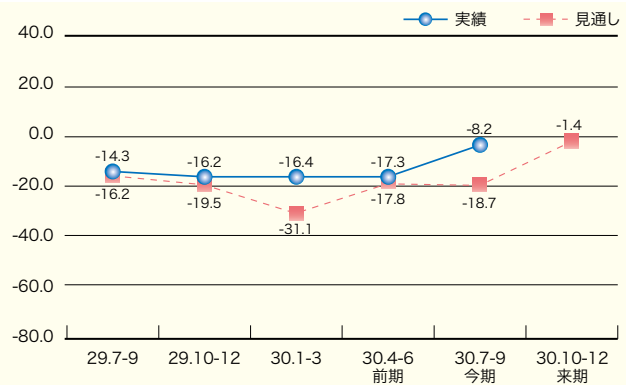
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成29年				平成30年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
業況	▲16.5 	▲23.0 	▲15.6 	▲28.4 	▲11.0 	▲22.7 	▲6.8 	▲4.1
売上	▲12.7	▲10.8	▲1.3	▲9.5	▲13.7	▲17.3	0.0	6.8
収益	▲17.7	▲21.6	▲14.3	▲16.2	▲16.4	▲17.3	▲8.2	▲1.4
資金繰り	▲21.5	▲14.9	▲7.8	▲27.0	▲16.4	▲8.0	▲6.9	▲6.9
在庫	11.4	10.8	13.0	14.9	9.6	12.0	0.0	8.2
設備	▲10.1	▲9.5	▲7.8	▲10.8	▲9.6	▲9.3	▲9.6	▲13.7
人手	▲30.4	▲29.7	▲24.7	▲27.0	▲28.8	▲22.7	▲35.6	▲35.6

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

サービス業
回答数27社

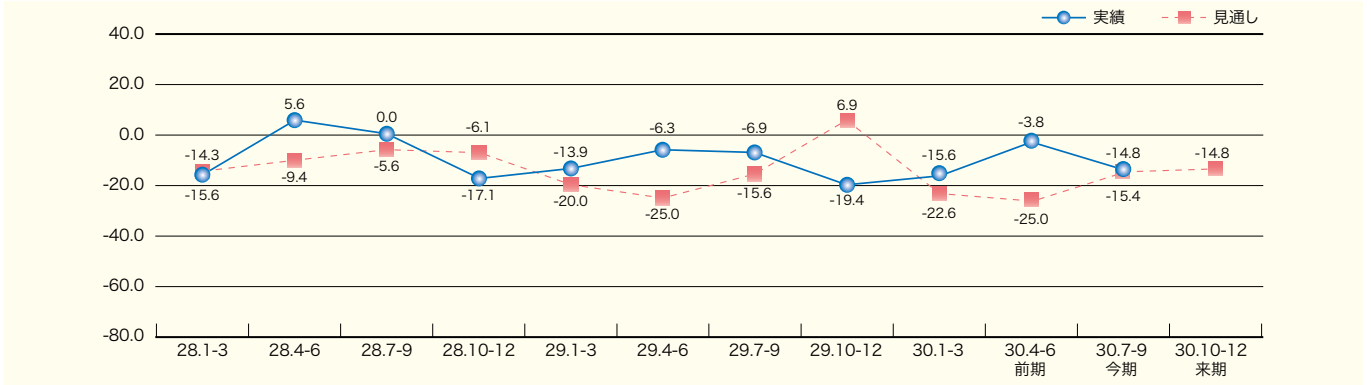
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは▲14.8。前期より悪化。

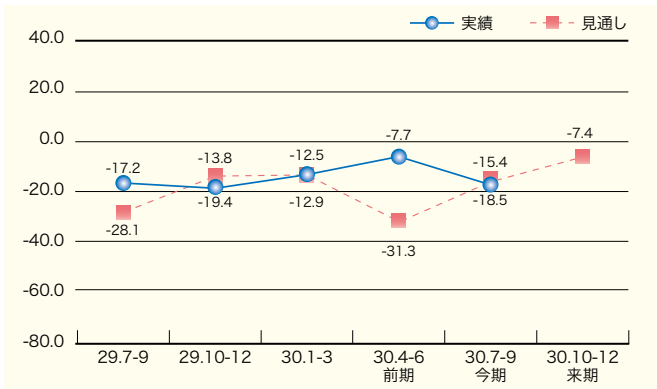
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは▲14.8。来期は横這いの見通し。

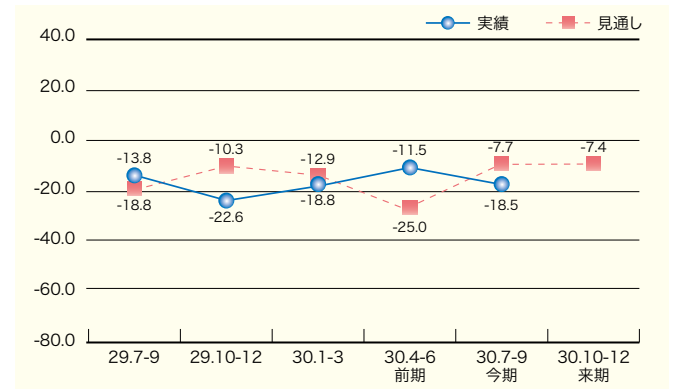
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成29年				平成30年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
業況	▲13.9 	▲6.3 	▲6.9 	▲19.4 	▲15.6 	▲3.8 	▲14.8 	▲14.8
売上	▲13.9	▲12.5	▲17.2	▲19.4	▲12.5	▲7.7	▲18.5	▲7.4
収益	▲16.7	▲9.4	▲13.8	▲22.6	▲18.8	▲11.5	▲18.5	▲7.4
資金繰り	▲19.4	▲9.7	▲3.4	▲22.6	▲9.4	▲3.8	▲3.7	▲7.4
設備	▲8.8	▲10.3	▲7.1	▲9.7	▲6.3	0.0	▲7.4	▲7.4
人手	▲44.4	▲40.0	▲46.4	▲61.3	▲50.0	▲57.7	▲66.7	▲70.4

(注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

建設・不動産業
回答数87社

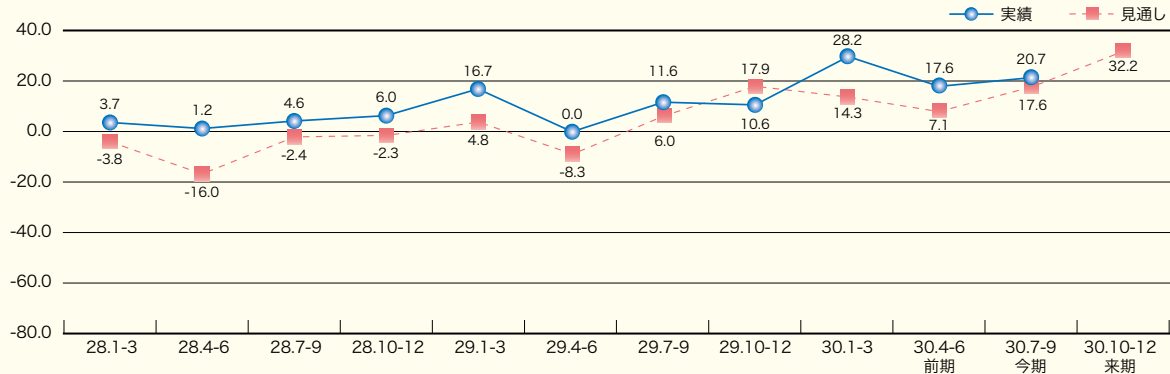
今期の実績(7-9月期)

業況D・Iは20.7。前期より若干改善。

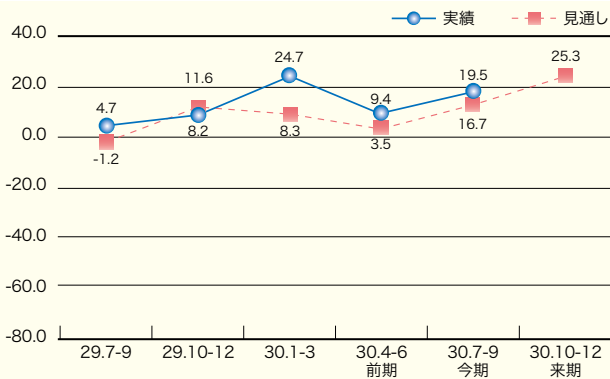
来期の見通し(10-12月期)

業況D・Iは32.2。来期は改善の見通し。

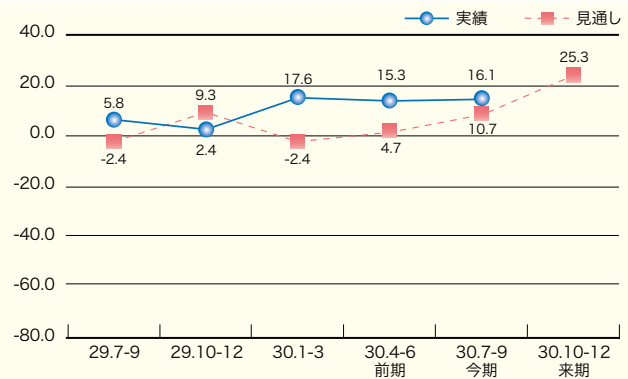
業況D・Iの推移



売上D・Iの推移



収益D・Iの推移



D・I判断指数

	平成29年				平成30年			
	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月
業況	16.7	0.0	11.6	10.6	28.2	17.6	20.7	32.2
売上	8.3	▲7.2	4.7	8.2	24.7	9.4	19.5	25.3
収益	1.2	▲7.2	5.8	2.4	17.6	15.3	16.1	25.3
資金繰り	▲4.8	1.2	1.2	10.6	11.8	9.4	▲1.2	4.7
在庫	▲8.8	▲7.4	▲6.0	▲12.0	▲8.4	▲9.6	▲15.1	▲15.1
設備	▲6.1	▲8.2	▲6.3	▲4.8	▲11.3	▲4.9	▲9.8	▲9.8
人手	▲48.2	▲31.3	▲40.7	▲47.1	▲41.2	▲43.5	▲43.7	▲47.1

(注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。